

洲本の子どもたちとともに

洲本市地域おこし協力隊
子ども子育て課所属

野原 輝人

プロフィール

氏名 野原 輝人（のはら てると） ※あだ名はビースト

年齢 33歳

移住元 東京（出身：沖縄県）

委嘱日 2023年5月1日（活動期間 1年5ヶ月）

活動内容 保育園での交流・体験イベントの企画・運営

保育や保育士の魅力向上

保育所業務の支援など



現状と課題①

- ・ 子どもの運動能力低下
スポーツ庁は「令和4年度体力・運動能力、運動習慣調査」の結果を公表し、小学生・中学生の男子・女子ともに令和元年度から3年連測で体力合計点が低下している。また運動していない子どもの割合の増加も認められた。

引用元 <https://sndj-web.jp/news/002108.php>

ニュース・トピックス

子どもの体力が3年連続低下 スポーツ庁「令和4年度体力・運動能力、運動習慣等調査」①

スポーツ庁「令和4年度体力・運動能力、運動習慣等調査」

- ・ ①子どもの体力が3年連続低下
- ・ ②中学女子以外は肥満の割合が過去最高
- ・ ③体育が楽しい中学生の割合が過去最高

現状と課題②

- ・ 保育士不足、保育業務の多さ、離職率の高さ
業務量の多さ、職場での人間関係構築、命を預かる責任の重さ、
保護者への対応など様々な要因から現場の保育士は日々の保育
業務に追われ、自分に向き合える時間も少ない。
また、職場の人間関係が原因での離職率が高くなっている。

引用元

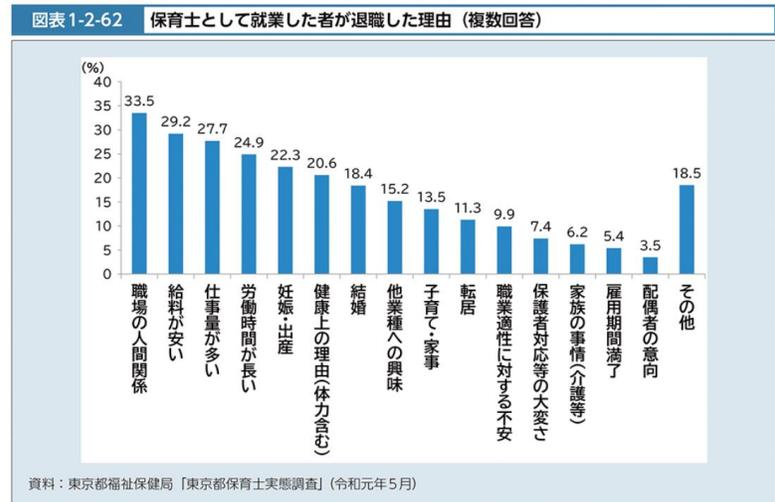
https://solasto-career.com/hoiku/media/16600/#heading1_1
<https://hoiku.mynavi.jp/contents/hoikurashi/childminder/work/7633/>
<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/21/backdata/01-01-02-62.html>

なぜ保育士の人数は不足している? 5つの原因と解消
に向けた対策を解説!

著者: めんたいパスタ

更新日: 2023/12/22

公開日: 2019/01/25



現状と課題③

- ・ コロナ禍によるコミュニケーション不足
コロナ禍によるコミュニケーション不足が子どもの言語能力低下に繋がっているとのデータもある。また、大人もコミュニケーション能力の低下を感じている結果が出ている。

会話の減少で「コミュニケーション力の低下」を実感する人も



引用元

<https://x.gd/J2igX>

<https://x.gd/gF3gs>



WEB
特集

“マスクの顔しか知らない”子どもたち 大人ができることは

解決策として

- **子ども達の運動機会の創出**

講師を招き、子ども達と一緒に楽しく運動することにより、運動をする機会が増え、習慣になり、将来的な体力向上に繋がっていく。

- **保育士が現場でもリラックスできるコンテンツの提供**

現場でもできるコンテンツを提供することで、少しの時間でも心と身体をリフレッシュすることができ、業務効率向上や職場環境の改善（良い雰囲気を作り出す）に繋がる。

- **他の園との交流イベントの企画**

他の園とのイベントを企画することで子どもも大人もコロナで不足したであろうコミュニケーション能力向上に繋がる。また、児童の少ない園にとっては集団でのコミュニケーションを取れる場にもなる。

2023年度に実施した内容の振り返り

- ・ トオコさんによる
ヨガ・リズム体操



- ・ AWJ選手による運動教室



- ・ 芸術家の土谷先生による巨大紙相撲大会



2024年度の活動実績①

協力隊の園田さんによるミツバチについての学びの実施（公立9園）



2024年度の活動実績②

沖口まことさん（元体操オリンピック選手）による体操教室の実施（公立9園）

※生涯学習課主催



2024年度の活動実績③

S BRICKでの防災訓練、女性消防団員による紙芝居読み聞かせ（由良保育所）



今後の活動予定①

芸術家の土谷先生による園対抗の巨大紙相撲大会の実施
(洲本地区4園、五色地区5園の対抗試合)



今後の活動予定②

スポーツインストラクターのトオコさんによるヨガ・リズム体操の実施



卒隊後のビジョン



今までの経験 + 淡路島での活動 → 新たな繋がり



最後に

自身が考える地域おこし協力隊の意義とは？

外から来て、実際に住んでみて、自分で感じたからこそわかる地域の良さもあると思います。その良さを地元の人と一緒に再発見していき、より良いモノにしていくことだと思っています。

洲本市地域おこし協力隊の魅力とは？

野菜・肉・魚、どれをとっても食べ物がおいしいし、綺麗な海やお城もあり、自然豊かな場所にもすぐに行く事ができ、それでいて住みやすい街だと感じています。洲本市特有の協力隊制度は柔軟で動きやすいのも魅力です。

担当者からのひとこと

野原隊員は持ち前の前向きさと社交性で子どもや園長先生ともすぐに親しくなり、人々を巻き込んで物事を推進していく力があります。やむを得ずトラブルが発生した際にもその対応力と機動力の高さで、時間をかけずに解決へと導く調整力もあります。

自衛隊に勤務していたこともあるため、公務員としての立ち回りや金銭感覚のバランスも優れています。

活動の3年間で人脈を増やし、彼のキャラクターを活かした形で定住してもらいたいです。卒隊後のビジョンはまだ探索中のようですが、「子育てにまつわること」にこだわりすぎず、自由な発想で市で活躍していくことに期待します。

橋詰